



# みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

縦断ミニフォーラム 04 in 南三陸

宮城県内のみちのく潮風トレイルは、多くの皆様のご協力により間もなく一部区間が開通する予定です。そこで、今回のミニフォーラムでは、みちのく潮風トレイルの現在の開通状況や、各地でどの様に活用しているかなど、楽しく情報交換をします。ゲストには、既に開通している青森県・岩手県の区間を歩かれている、紀行作家のシェルパ斉藤氏、毎年多くのハイカーを受け入れている“信越トレイル”を運営する、信越トレイルクラブの片平氏享伸氏、みちのく潮風トレイル開通区間のほぼ全てを歩いた、くりこま高原自然学校の佐々木豊志氏をお招きします。

## プログラム

**第一部：基調講演 13:50～14:35**

シェルパ斉藤氏（斉藤 政喜氏）（紀行作家）

「みちのく潮風トレイルを歩いて」

**第二部：パネルディスカッション 14:45～15:55**

「みちのく潮風トレイルを楽しく使おう」

事例紹介◎片平 享伸氏（NPO法人信越トレイルクラブ事務局）

パネル◎シェルパ斉藤氏

◎片平 享伸氏

◎佐々木豊志氏（くりこま高原自然学校代表）

進行◎木村 宏氏



日時 平成 29年 2月 1日 水

無料

受付開始 13:00 開始 13:30 終了 16:00

場所 南三陸・海のビジターセンター（レクチャールーム）

（宮城県本吉郡南三陸町戸倉字坂本 21-1）

◎事前申し込み制（定員50名／申込先着順）

## 申込・問合せ先

以下の情報を、電話、ファックス又はメールにてお申し込み下さい。

『お名前・ご所属・ご住所・電話番号・メールアドレス』

南三陸・海のビジターセンター

TEL&FAX：0226-25-7622

E-mail：center@kawatouminovisitorcenter.jp





# みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

縦断ミニフォーラム04 in 南三陸

## 登壇者プロフィール

齊藤政喜（さいとう まさき）

紀行作家。1961年長野県生まれ。1990年にロングトレイルの先駆けである東海自然歩道を踏破する紀行文を雑誌『BE-PAL』に連載。ネパール帰りであり、読者を歩く旅にいざなうことから、山岳ガイドの代名詞であるシェルパのペンネームを編集者につけられる。以降アウトドア雑誌を中心に紀行エッセイを長期連載中。著作は30冊を超える。95年にハケ岳山麓に移住。自らの手で家をつくり、田舎暮らしを楽しんでいる。トレイルの名がつく日本のルートをもっとも多く歩いているバックパッカーであり、年に1度は海外のロングトレイルも旅している。日本ロングトレイル協会のアドバイザーも務め、ラジオやテレビ出演、講演などでロングトレイルの魅力を伝えている。

木村宏（きむら ひろし）

NPO法人日本トレッキング協会理事／NPO法人日本ロングトレイル協会常務理事／NPO法人信越トレイルクラブ理事  
大学卒業後リゾート開発、ホテル経営会社の勤務を経て、長野県に移住、自らの宿泊施設の経営後、日本型DMOの先駆けとなる信州いいやま観光局の運営を実践。グリーンツーリズム、公共施設運営、着地型商品の造成、観光まちづくり事業に関わる。新幹線飯山駅構内の観光交流拠点整備や、小布施の老舗栗菓子屋の観光施設運営も参画。平成28年4月から、北海道大学観光学高等研究センター 特任教授

片平享伸（かたひら たかのぶ）

一般社団法人信州いいやま観光局 なべくら高原・森の家職員／特定非営利活動法人信越トレイルクラブ事務局  
法政大学社会学部社会学科卒業後、株式会社エフエム北海道にてプロデューサー・ディレクターとして活躍。2012年より長野県飯山市に移住。なべくら高原・森の家職員、信越トレイルクラブ事務局員として事務、運営に携わる。  
信越トレイルクラブ事務局では、整備計画、関係団体との調整、ガイド派遣、宿紹介、広報、問い合わせ対応など事務一般を担当。日本山岳ガイド協会 自然ガイドステージ1／NPOアジア職業エコガイド・ウォーキング指導者協会所属

佐々木豊志（ささき とよし）

一般社団法人くりこま高原自然学校 代表理事／NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所 理事長／NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長／青森大学客員教授／東北福祉大学特任講師  
筑波大学体育専門学群野外教育体育学を専攻し、東京の企業に勤務の後、くりこま高原に移住し現職。その後、宮城大学大学院事業構想学にて博士号取得。冒険教育・野外教育・環境教育を通じて青少年の「生きる力」を育む教育活動を実践。農的な暮らし、自然と共生する持続可能な豊かな暮らしを創造できる「人」と「社会、づくりに取り組んでいる。  
共著：『日本型環境教育の知恵』[2008 | 小学館]、『ESD 拠点としての自然学校』[2012 | みくに出版]、『環境社会の変化と自然学校の役割』[2018 | みくに出版]、他。

”みちのく潮風トレイル”は、地域の自然や暮らし、震災の痕跡、歩く人と地域の人などを様々に「結ぶ道」として、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までをつなぐ約700kmのロングトレイルです。

地域の皆様と協働で路線を設定し、設定を終えた区間毎に順次開通しています。

このトレイルが、地域に愛され、未永く活用されることを願っています。

